



Meitetsu BMW 30周年

市民合唱団による

悠久の第九

ベートーヴェン

ピアノ協奏曲第4番ト長調Op.58

交響曲第9番二短調Op.125「合唱付」

2018

12/5(水)

17:45開場

18:30開演

愛知県芸術劇場コンサートホール

☎052-971-5511 名古屋市東区東桜一丁目13番2号
(地下鉄「栄」駅下車徒歩3分)

入場料 指定席: A席5,000円 / B席4,500円 / D席2,500円 自由席: C席3,500円

※未就学児の入場不可

1・2階正面席

2階正面・サイドバルコニー席

2階オルガン席

3階席



指揮 小松 長生
(当団名誉指揮者)



ピアノ
中沖 玲子



ソプラノ
エレナ・フィンク



メゾ・ソプラノ
大田 亮子



テノール
城 宏憲



バリトン
能勢 健司



合唱団 / 悠久の第九合唱団

合唱指導 / 永ひろこ

管弦楽 / セントラル愛知交響楽団

チケット取扱 発売日 8/30

- セントラル愛知交響楽団 ☎052-581-3851 (郵送サービス有り)
- 電子チケットぴあ (Pコード122-648) ☎0570-02-9999
- 愛知芸術文化センタープレイガイド ☎052-972-0430

【お問合せ】 セントラル愛知交響楽団 ☎052-581-3851

主催 / 一般社団法人セントラル愛知交響楽団・@FM 共催 / 日本経済新聞社 協賛 / Meitetsu BMW
協力 / 金城学院大学文学部音楽芸術学科

<http://www.caso.jp>

セントラル愛知交響楽団

検索

チケットはホームページからお申込み頂けます。



指揮 小松長生

福井県生まれ。東京大学美学芸術学科、イーストマン音楽院大学院指揮科卒。エクソン指揮者コンクール優勝。パッファロー管エクスン派遣指揮者、ポルティモア響アソシエート、キッチン・ウォーター交響楽団及びカナダ室内アンサンブル音楽監督、武生(たけふ)国際音楽祭音楽監督、東京フィルハーモニー交響楽団正指揮者等を経て、2011年よりコスタリカ国立交響楽団桂冠指揮者及び、セントラル愛知交響楽団名誉指揮者。これまでにモントリオール響、ケルン放送響、ブラハ放送響、北ドイツフィル、ポリショイ劇場、キエフ国立オペラ、ソウルフィル、香港フィル、モスクワ放送響、ヴェネズエラ国立響、『東急ジルベスターコンサート』、『題名のない音楽会』、『NHK BS プレミアム』、『NHKららら クラシック』、TBS『砂の器』(千住明 作曲、羽田健太郎/日本フィル)、ベルリン・フィルハーモニー創立50周年記念日独第九演奏会、トヨタ・レクサス用マーク・レビンソン搭載10周年記念CD(新日本フィルハーモニー)などを指揮。五嶋みどり・龍、堤剛、ヒラリー・ハーン、ラン・ラン、山下洋輔、小曾根真、ジェイムス・ゴールウェイ、レナート・ブルゲン、石井竜也、谷村新司、東儀秀樹らジャンルを超えたアーティスト達とのコラボレーションも注目を集めている。2017年9月釜山マル国際音楽祭(韓国)に招かれ、メインコンサート3プログラム(3交響曲、4協奏曲等10曲)を指揮(演奏:セントラル愛知交響楽団)し、絶賛を博した。自作の『新福井県民歌』(三好達治作詞。2014年初演)を、2018年9月福井しあわせ元気国体開会式にて天覧指揮。金城学院大学教授。音楽藝術学博士。著書『リーダーシップは「第九」に学べ』(日本経済新聞出版社)。



ピアノ 中沖玲子

パリ国立高等音楽院ピアノ科、室内楽科共にプルミエ・プリ(1等賞)で卒業。在学中、パリ国際音楽コンクール第2位、セニガニア、エピナル各国際ピアノコンクールに入賞。ハレ交響楽団(イギリス)、ウクライナ国立歌劇場管弦楽団などヨーロッパ各地のオーケストラと共演。日本においては大阪フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、セントラル愛知交響楽団などと共演、また名古屋フィルハーモニー交響楽団及びNHK名古屋青少年オーケストラ公演のヨーロッパ公演にもソリストとして同行。フランスを代表する作曲家アンリ・デュティユにも直接師事し、1993年には「デュティユ・ピアノ作品全曲演奏会」を東京・名古屋で開催。またコンクールの審査員としてプーランク国際コンクール、パリ・フランス音楽コンクール、ソフィア国際コンクール、ボルドー・ラ・テストド・ビュッシュ国際コンクール、マドリッド・スペイン作曲家コンクール等に招かれ、ヨーロレジョン国際ピアノコンクールでは審査委員長を務める。1996年愛知県芸術選奨文化賞、名古屋市民芸術祭賞、1999年ポメリー文化賞、名古屋芸術奨励賞受賞。現在、パリ・エコール・ノルマル音楽院教授、名古屋芸術大学教授。



ソプラノ エレーナ・フィンク

ミュンヘン、ニュルンベルク、ドレスデン、ハンブルクの州立歌劇場、ベルリン・コミッシェオペラ、ハレ歌劇場、フランクフルト・アルテオペラ、オルデンブルク、コブルク、デッサウ、ブリュッセル、イスタンブールの各歌劇場、アントワープのAMUZ音楽祭、ライブツィヒのバッハフェスティバル、ルツェルン音楽祭、バーデンバーデン・フェスティバルハウス、チューリヒ・トーンハレ、ベルリン・フィルハーモニー等、ヨーロッパ各地で常時出演を重ねているドイツのソプラノ。「魔笛」の夜の女王、「後宮からの誘拐」のコンスタンツェ、「ラクメ」のラクメ、「イドメネオ」のエレクトラ、「魔弾の射手」のエンヒェン、「キャンディード」のクネゴンデ、「ヘンゼルとグレーテル」のグレーテル、「プロスペリーナ」のプロスペリーナ等のオペラ、「メサイア」等の宗教曲やドイツリートにも卓抜した表現力を持ち、ノルトライン・ヴェストファーレン州の「Opera Singer of the Year」を始め数多くの称賛を得ている。



メゾ・ソプラノ 大田亮子

名古屋音楽大学卒業。同大学院修了。共に首席修了。特待生奨学金を授与される。2004年よりミラノに留学し、Accademia Lirica Internazionale "Arnaldo Mantovani"にてディプロマ取得。「カヴァレリア・ルスティカーナ」サントウツァ役でデビュー。往年のプリマドンナ「M.オリヴェーロ女史102歳記念コンサート」にて L.ヌッチ氏と共に出演。ヘンデル「メサイア」・メンデルスゾーン「エアリア」・ベートーヴェン「第九」・ブラームス「アルト・アブソディ」・ヴェルディ「レクイエム」等、ソリストとして多くの合唱団、オーケストラと共演。第40・42回イタリア声楽コンクールソシエナ部門ファイナリスト。第150回日本演奏連盟推薦新人演奏会にて名古屋フィルハーモニー交響楽団と共演。2014年に帰国し、後進の指導、合唱指導にも力を注いでいる。名古屋音楽大学講師、名古屋市文化振興事業団文化芸術活動アドバイザー。



テノール 城宏憲

岐阜県出身。東京芸術大学卒業。新国立劇場オペラ研修所修了。文化庁新進芸術家海外研修制度にて渡伊。2012年、サイトウ・キネン・フェスティバル松本20周年記念、ベートーヴェン「合唱幻想曲」でソリストデビュー。二期会『イルトロヴァトーレ』マンリーコ、『トスカ』カヴァラドッシ、『ノルマ』ポリオーネ、BSフジ「レシビアン」、テレビ朝日「題名のない音楽会」、月刊「ハンナ」等、関東を中心に舞台やメディアへ出演。本年6月には、ヨーロピアン・ミュージック・オープンに登場、ブルックナー「テ・デウム」テノール・ソロで欧州デビューを果たす。第84回日本音楽コンクール声楽部門第1位並びに岩谷賞、第8回静岡国際オペラコンクール三浦環特別賞、平成28年度岐阜県芸術文化奨励賞など受賞多数。二期会会員。



バリトン 能勢健司

愛知県立芸術大学大学院修了後、ドイツ・マンハイムにて研鑽。新国立劇場 オペラ研修所修了。ひろしまルネサンスオペラ「イル・カンピエロ」(佐藤正浩指揮、栗園 淳演出)『魔笛』(岩田達宗演出)ほか、沼尻竜典指揮『ドン・ジョヴァンニ』等に出演。また、外山雄三指揮「第九」、鈴木雅明指揮BCJ「マタイ受難曲」松尾葉子指揮「カルミナ・ブラーナ」、名フィル第409回定期演奏会、円光寺雅彦指揮ニールセン「交響曲3番」、ドイツ・ハレ大学 管弦楽団と「戴冠ミサ」、クオアチア国交樹立20周年記念演奏会等、宗教曲のソリストをつとめる。日本演奏連盟推薦新人演奏会中日賞受賞。現在、金城学院大学文学部音楽芸術学科准教授、名古屋市立菊里高校音楽科非常勤講師。